

令和 4 年 9 月 13 日に

骨・関節系疾患ネットワーク専門部会オンライン会議を開催いたしました。



令和 4 年度 骨・関節疾患ネットワーク専門部会 オンライン開催



専門部会長 國府田正雄先生

議事内容

(1) 難病診療連携拠点病院事業

① 研修計画等について 医療従事者向けの研修会については「難病とゲノム医療」をテーマとして、IRUD の実績を含め、3 人の先生に講話を計画している。

② IRUD 未診断疾患イニシアチブについて

2015 年から行っている IRUD の実績をふまえ、最近の結果報告内容等説明

(2) 難病制度及び難病制度の見直しについて

茨城県保健医療部健康推進課難病担当 榎戸係長より資料 2 をもとに説明

① 茨城県の難病対策について

② 臨床調査個人票・医療意見書のオンライン化について

国の難病法見直しにもとづき大きく変更する点を説明

質問 オンライン導入されても当分は今までと同様に紙ベースの提出でよろしいのか。

県回答 紙ベースでの提出は変わらないので、オンライン化されても紙での提出になる。

オンライン化では入力ミスや診断基準の照合など確認機能が付与される。

質問 後縦靭帯骨化症の臨床調査票で、重症度を満たさなくても手術治療を行えば認定されるのか。

県回答 手術予定日を記載されることによって、認定される場合がある。

(3) 情報提供

脊柱靭帯骨化症研究班について國府田専門部会長より追加資料の内容を説明

・OPLL 手術レジストリ、術後の痛みの研究

・脊柱靭帯骨化症診断ガイドライン2019の改編へ

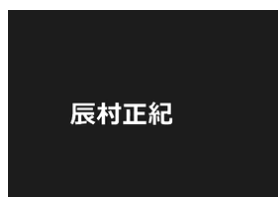
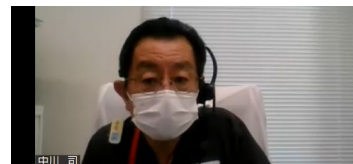
< 脊柱靭帯骨化症研究班: 研究の進捗報告 >

- | | | |
|---------------------|-----|---------------------|
| * GL 改訂に向けたエビデンスの集積 | ... | 多施設研究を推進 |
| * 患者さんからの声を反映した研究 | ... | 術後痛み研究 |
| * 悉皆性の高いレジストリ構築・運用 | ... | JOANR 連携 OPLL レジストリ |
| * 難病診療体制の構築 | ... | 自治体・各都道府県患者会との連携 |

今後の専門部会の開催方法について

コロナの影響でオンライン会議となったが、先生方にはオンライン会議のほうが出席しやすいと思うので、今後はオンライン会議での開催を進めていきたい。また、メールにより情報等の共有を図っていくので、先生方から忌憚のない意見をいただきたい。

【出席者】



筑波大学附属病院、國府田先生、
水戸医療センター 安田先生、
ひたちなか総合病院 辻井先生、
総合守谷第一病院 椎名先生

古河総合病院 岩波先生、
小山記念病院 小林先生、
茨城県立医療大学 六崎先生、
水戸協同病院 辰村先生

茨城県西部メディカルセンター 中川先生、
土浦協同病院 水野先生、
水戸赤十字病院 埜口先生、
県健康推進課 榎戸係長

令和4年度 骨・関節疾患ネットワーク専門部会委員

1 水戸赤十字病院	整形外科部長	埜口 博司
2 水戸医療センター	脳神経外科	安田 貢
3 総合病院水戸協同病院	講師	辰村 正紀
4 ひたちなか総合病院	副院長	辻井 績武
5 日立総合病院	整形外科主任医長	安藤 毅
6 小山記念病院	整形外科部長	小林 裕明
7 茨城県立医療大学	教授	六崎 裕高
8 総合守谷第一病院	整形外科副部長	椎名 逸雄
9 総合病院土浦協同病院	整形外科部長	水野 広一
10 茨城県西部メディカルセンター	副院長	中川 司
11 結城病院	整形外科医長	大木 武
12 茨城西南医療センター病院	副院長	上杉 雅文
13 古河総合病院	整形外科医長	岩波 明生
14 筑波大学附属病院	准教授	國府田 正雄
15 筑波大学附属病院	准教授	高橋 宏
16 筑波大学附属病院	病院講師	三浦 紘世